

ほっ

図書部



3号

平成31(2019)年1月

船橋市西図書館 YA 担当

新刊紹介

担当からのおすすめ！
気になったら、
YAコーナーへ！GO!



『ヘンな論文』

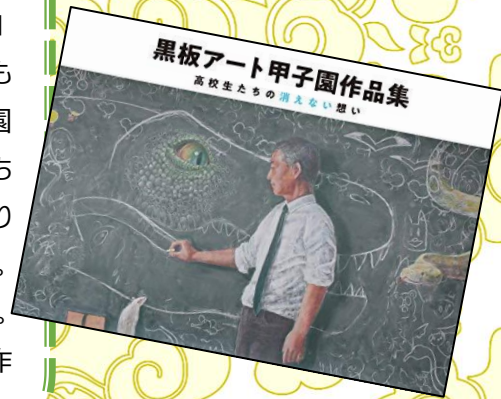
サンキュータツオ KADOKAWA Y049 へ

論文って読んだことありますか？なんだか難しそう…な感じがしますよね。でも、しりとりがいつまで続けられるか、といったことや、傾斜面（土手とかです）に座るカップルの他人との距離感について、至極まじめに研究している人がいるとしたら…ちょっと気になりませんか？読んでみると意外としっかり観察や分析をしていて、なるほど、と思えます。どんなことでも本気になって調査すれば立派な論文に！みなさんも研究者になったつもりで、身近な疑問を研究してみましよう。意外な結論が待っているかも。

『黒板アート甲子園作品集 高校生たちの消えない想い』

日東書院本社 Y720 ㊿

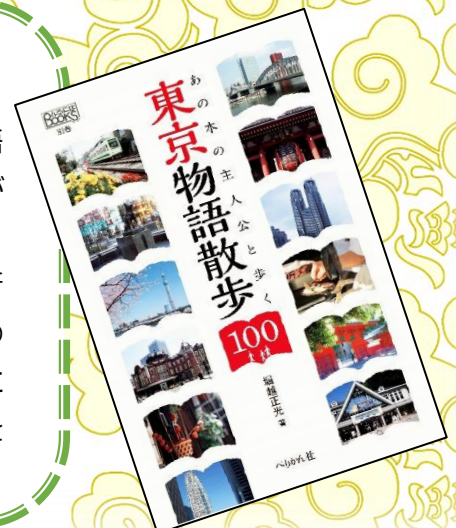
学校に行くとき必ずあるもの…黒板！いやいや、うちは違うよという人もいるかもしれませんが、…ある黒板メーカーさんが考えた黒板甲子園がひそかに熱い。これが黒板に？あれをチョークで？そんな驚きに満ちた作品をつくる高校生たちがいるのです。あの宮部みゆきの『過ぎ去りし王国の城』の表紙絵もなんと女子高生が描いた黒板アートでした。この本には、船橋市の高校生の作品も載っています。探してみてね。そして挑戦してみたらどうだろう。Webサイトではホワイトボードアート作品もみられますよ！<http://kokubanart.nichigaku.co.jp/>



『あの本の主人公と歩く 東京物語散歩 100』

堀越正光 ぺりかん社 Y366 ナ

東京を舞台にした物語を紹介した、朝日新聞のコラム「東京物語散歩」。その中から、中高生に特におすすめ！と厳選されたものが載っています。東大のキャンパス、スカイツリー、国立科学博物館、池袋サンシャインシティ、高尾山…など、みなさんが知っている場所もきっと舞台になっているはず。巻末に「場所索引」がついているので、気になった場所から物語を選んでみてはいかがでしょうか。ここで紹介する物語は東京が舞台ですが、船橋を舞台にした物語を探してみるのも面白いかもしれません。





<特集> ファンタジーの世界によろこそ！



『二人の王子とドラゴン』

タンヤ・キンケル著/平野獅子訳 サンマーク出版 Y943 キファンタジーと言えばドラゴン！ではないでしょうか。ここロロン王国では、100年の間ドラゴンを見た者はいませんでした。しかし、双子の王子のどちらを王座に据えるか決めかねた王は、王位継承の条件にドラゴン退治を課します。王妃の頼みにより二人で冒険に出た王子たち。ついにドラゴンを見つけ、闘いを挑みますが…。小人、盗賊、旅に付き物の危険を切り抜け、明かされるドラゴンの秘密。ぜひご覧ください。



『最果ての東 1st end』

十文字青 講談社 YF シア

世界大戦の最中、吸血病と呼ばれる新種の感染症が瞬間に広がり、5千万人以上が命を落としました。死を免れた罹患者は血を求める吸血種となり、人々から怖れられます。吸血種に対抗するため結成された人類再生教団。主人公の少年は人類再生教団の一員、リアン。リアンは吸血種と人間が共存する最果ての東へ向かい、ある任務に取り掛かります。荒廃した世界を救うべく立ち向かう、西洋ファンタジー。



『嘘の木』

フランシス・ハーディング著/児玉敦子訳 東京創元社 Y933 ハ「嘘の木」——暗闇で育ち、嘘を養分にしたときだけ花を咲かせ実をつける。その実を食した者は、心の奥深くに抱えている問題について、極秘の知識を得ることができる——。不正を疑われ世間の目から逃れるためにヴェイン島へ移り住んだサンダリー一家。ある日サンダリー氏が遺体で発見され、娘のフェイスは父の死の謎を解明するため調査をすすめる。ミステリー要素を含んだ作品。



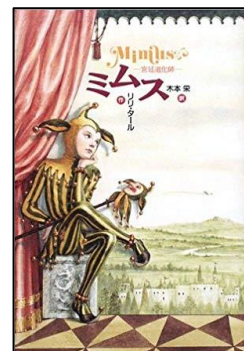
★1月～3月の特集展示 「試験で出会う・試験に備える」★

十代にとって、学校と試験は切り離せないもの。どんな本が試験で使われるのだろう。その傾向や作品の面白さを先に知っておけば、もしかしたら？年明け展示は、見逃せない！

『ミムス』

リリ・タール著/木本栄訳 小峰書店 Y943タ

道化のミムスの弟子、チビミムスは、実はモンフィール王国の王子フロリーン。敵対するヴィンランド国の王、テオドの卑劣な策略により、城に捕らえられました。父王の身の安全を守るため、自由の身でありながら逃げ出すこともできず、道化の修行に明け暮れる毎日。やがて明らかになるテオド王がモンフィールを憎む理由に、復讐の空しさを感じます。しかし、この本の見どころは何と言っても道化の師匠ミムス。機知に富んだ応酬の見事さ、育まれていくフロリーンとの絆、どこか憎めない道化のミムスを、あなたもきっと好きになるはず！



『中学生までに読んでおきたい日本文学⑩ ふしぎな話』

松田哲夫編 あすなる書房 Y918チ10

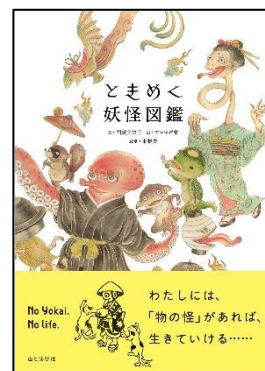
ふしぎな話、と言うより、少しホラーに近いかもしれません。そう言うと語弊があるかもしれませんが、ぞっとするような、怪異を感じるお話かも。斎場の裏の廁で、泣き崩れた後に“にいっ”と笑う少女（『化粧』川端康成）。インド人のミスラ君から教わった、「欲を捨てないと使えない」魔術を賭け事に使ってしまい、夢のように一瞬で失ってしまう寓話的な話（『魔術』芥川龍之介）。日常と少しずれたふしぎな世界が、あなたを待っています。



『ときめく妖怪図鑑』

門賀美央子文 山と溪谷社 Y388ト

ファンタジーってどういう意味だか知っていますか？空想、幻想という意味なんです。妖怪は実在するから空想ではないよ！という方も、どうでしょう、この表紙。何だか空想めいたかわいらしさがありませんか。しかし、一たびページをめくると、幽霊画や人魚のミイラの写真も目に入ってきます。かわいい妖怪、恐ろしい妖怪、古より存在する様々な逸話をお楽しみください。



<西図書館イベント情報>

カリスマ編集長が語る！

本を“創る”ということ

～夢を応援！図書館★ミライ図鑑 vol.2～

日時：1月27日（日）14時～16時

場所：3階多目的室

対象：15歳以上35歳以下

申込：1月4日9時半より→



本を創る仕事って何をするの？本に関わる仕事をしたい！将来の進路や、出版界の疑問についてみなさんの質問に答えてくださるのは、老舗出版社の元編集長さんです。気軽に参加してくださいね。

<POP 展示>

11月に、海神中学校1年生が書いてくれたおすすめ本のPOPをYAコーナーで展示しました！

12月は職場体験にきてくれた中学生、高校生のPOPも展示して、コルクボードがいつも以上にぎやかになりました。どうもありがとうございました。誰かが薦めてくれる本を読んでみるのも、知らないジャンルに挑戦するよいきっかけとなっていていいですね。一緒に展示した本もたくさん貸出がありました。



→ → → → →

ただ書くだけでなく、切り貼りや多色塗りのPOPは、どれも力作でびっくりしちゃいました。おすすめ本への愛があふれています！
みたらキミらも読みたくなっちゃうぞ。



あけましておめでとうございます。担当Hです。

YAコーナー情報紙「ほっ図書館」もなんとか一年が過ぎました。みんな読んでくれてるかなあ。お友達に拡散希望です！

今年は、十代のみなさんがYAコーナーでもっと本や人とふれあえるよう、楽しい空間にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りします！

お餅食べ過ぎて、太らないように気をつけましょう。

受験生は寝てられない！がんばれ～



お餅です。お正月くらい、食べてね

次号は4月に発行予定です！



発行 船橋市西図書館

☎ 047(431)4385

ホームページはこちらから！

<https://www.lib.city.funabashi.chiba.jp/>

スマホ



ケータイ

